

2024年8月29日
株式会社エヌジェイホールディングス

2024年6月期決算説明会 主な質疑応答の要旨

質問1. 当期黒字転換されたが、GC注記がまだ消えていない。これが消えるのはどのようなときとお考えか？

当期の業績は黒字転換し、手元資金も増加しているが、GC注記においては向こう1年間の継続性が確かであるかという観点が必要になる。当社の短期借入金は、直近では半年での更新を行っており、1年間ではないなかで、これを返済してなお資金が十分かどうかと厳密に見ていくと、業績回復に伴う運転資金の需要増加も踏まえて、十分な運転資金があるとは言えないため、GC注記を付している。金融機関とは良好な関係にあり、早期に1年間での更新を実現したいと考えており、目下交渉を続けている。

質問2. 1年間に期間が変わると、金利は上がるのでしょうか？

金利については、市場金利を基に取り決めており、短期借入ということ自体は変わらないので、少なくとも同じ条件を維持していただけるように交渉していく。

質問3. 借入金残高は今後も減っていくのでしょうか？

ゲーム事業は、一定の成果物の納品時に入金があり、キャッシュアウトの方が先行するため、業績回復とともに運転資金需要が増加する。金融機関とは、今後、追加の融資もいただけるように緊密な関係を維持していきたいと考えている。

質問4. 資金調達には、借入以外にも手法があると思うが、どのようにお考えか？

様々な手段があることは承知しており、金融機関以外からの調達についても適宜検討を進めていく。

質問5. 来期の業績予想において、売上が減るなかで、利益は維持しているが、減少する費用は原価でしょうか？それとも販管費でしょうか？

原価です。当期は減収となるなかで、主に外注費原価のコントロールによって影響を抑えてきた。来期も同様に原価のコントロールによって、利益への影響が出ないようにしていく。

質問6. 受注の細りや受注の遅れについて、原因は内部なのか？外部なのか？また、それが来期回復していくという蓋然性について教えていただきたい。

外部要因の影響が大きいと考えている。案件が大型化するなかで、クライアントでの新規企画立ち上げや審議の長期化が起こっている。このような状況から、受注計画はシビアに見るようにしている。案件が見込み時期どおりに始まらない可能性を常に想定して営業活動を行っていく。また、人材把握についてもグループ横断で進めており、グループのどこで人材ニーズをキャッチしても人材マッチングができる体制構築を進めている。

質問7. 財務キャッシュフローを見ると、かなり返済を進めたようだが、これは長期か？短期か？前期とは違う何かがあったのか？

長期は、約定どおり返済を行ってきている。当期は、短期もそれと歩調を合わせるように返済してきた。何か一括して返済したというものはない。

(注) 当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。